

関西支部シニア会第14期（2019年度）活動計画

1. 運営基本方針（シニア会活動の理念）

- (1) 会員相互の親睦と情報交流を促進する。
- (2) シニアの経験・技術・知恵を活用し、教育機関、学生、企業、技術者を支援する。
- (3) 関西支部の活動に協力し、その発展に寄与する。

これらの活動を通じて、会員のシニアライフの充実と社会への貢献を目指す。

2. 2019年度運営方針

- (1) シニアによる社会貢献の一環として、小中学生・ジュニア会友向けの理科工作教室の開催、学生との交流、大学・高専への講師の紹介、企業に対する技術・経営支援を実施し、シニアの技術・知見の伝承を図る。
- (2) シニアの相互交流と社会見聞を深めるため、情報交流サロン、特徴ある技術を有する企業見学、機械・産業遺産ツアー、研修キャラバンを開催する。
- (3) シニア会を永続・発展させるために、諸活動の意義を各方面に広く理解いただくことを通じて、諸行事への参加を促し、次代を担う会員の増強を引き続き図るとともに、活動の在り様についての議論を深める。

3. 2019年度活動計画

3.1 シニア会総会・運営委員会

①シニア会総会；年度の活動結果ならびに次年度の計画について報告し決定する。

付帯行事として講演会、懇親会を開催する。

- ・2020年3月に第14期総会を開催する。
- ・第13期総会の決定に基づき、第14期の活動を開始する。

②運営委員会；

- ・2ヶ月に1回を目途に運営委員会を開催する。必要があれば臨時運営委員会を開催する。

3.2 社会貢献活動

①理科工作教室の実施

理科やものづくりに興味を持つ小中学生、機械学会ジュニア会友を支援し、理科好き児童の育成に貢献するため、親と子の理科工作教室と特定の学校を対象とした理科特別授業を継続実施する。

- ・親と子の理科工作教室としては、25会場43教室程度を計画する。内容は、学校のカリキュラムを補い、児童の理科への興味を維持・強化できる内容とする。
- ・理科特別授業としては、5校程度を計画する。内容は理科の単元に合わせたものとする。
- ・ジュニア会友については、昨年度は中学生向けに1教室を開催したが、中高生が多いため、開催法やテーマについては工場見学等を視野に入れて検討する必要がある。ジュニア会友を管掌しているのは本部であり、本部、支部の協力と連携を求める。
- ・実施メンバーに関しては、年齢・体調などの理由により減少傾向にあり、シニア会として充足・増員を図るため、会員への参画をメールの直接配信などにより依頼する。
- ・実施に際して支援していただいている非会員の学生、ボランティアの昼食代・交通費を実施メンバーが負担しているが、理科工作教室の予算で支払可能か、支部幹事会で検討いただく。

②関西支部、学生会に対する支援

- ・関西学生会卒研発表講演会のコメンテータとしてシニアの派遣依頼に協力する。
- ・学生会との交流を兼ね、シニアによる講演や学生とのフリートーキングなどを内容とする「シ

ニア会と学生会との交流会」(第14回)を10月下旬頃に開催する。

- ・支部の要請に応じて講習会や講演会への講師の派遣に努める。

③大学・高専への非常勤講師の紹介

- ・大学・高専へ非常勤講師依頼要請を8月末頃に出し、早目に活動を開始する。
- ・非常勤講師依頼が来れば、シニア会の当該年齢の全員、および該当者がいない場合はその後運営委員会へ案内を出し、広く応募者を募る。
- ・非常勤講師をされた方の実施後のフォローを行い、次回の支援活動に反映できるようにする。
- ・非常勤講師の該当年齢のシニア会員数は20名弱で、母数が大きくなく応募者が出なくて対応出来ないこともあった(一昨年度)。シニア会の非常勤講師支援活動の関西支部会員への実績の積極的なPRなど、該当年齢者層の増強策が望まれる。

④企業に対する技術・経営支援

(企業内技術者教育)

- ・企業技術者に対する社内教育では、材力・強度分野および振動・音響分野について企業からの依頼に応じて引続き実施する。
- ・シニア会側の対応能力の範囲で数社に対して教育を実施することを目標とする。
- ・技術教育についての企業ニーズを掘り起こすために、特定の企業について、運営委員および会員に紹介してもらった技術系幹部からニーズを聴き、教育プログラムを提案する。
- ・材力・強度、振動・音響分野以外の分野については、熱・流体分野、トライボロジー分野、機械加工分野などの可能性について、運営委員および関係会員の自発的な活動を基本として議論を継続する。

(「基礎講座講習会(仮題)」の準備)

企業の設計・製造部門の技術者を対象として、材力、強度、振動、騒音、流力、熱力、潤滑などの基礎概念を学び直す契機とするための講習会を関西支部とともに企画検討する。

- ・関西支部や他支部が実施している講習会と相互補完できる内容を目指すべく、まず、関西支部、関連専門部会と基本的な方針に関してすり合わせを行う。
- ・これまでの企業内教育の実績と経験から感じ取れた企業ニーズを反映する。
- ・中堅・中小企業における技術・教育の状況に配慮する。
- ・講習会への参加企業の中から個別の社内教育の対象企業を抽出することを想定する。

(個別企業からの支援要請)

- ・個別の企業からの技術者紹介の要請に関しては、その都度、会員から応募者を募る。

⑤技術伝承

- ・上記支援活動は技術伝承の一環であると考え、加えて、シニア会諸行事の講演資料などを精査・選択し、Webの閲覧資料を蓄積する。

3.3 会員交流活動

①情報交流サロン

- ・年3回程度(5月,8月,12月)開催し、シニア会員の有する技術を提供し相互の懇親を深める。
- ・会員から順次話題提供をお願いする。

②特徴ある技術を有する企業見学会

- ・年1~2回開催し、シニア会員との交流、懇親を深める。
- ・2019年度第1回(通算第18回)は、5月9日(木)、音羽工業(株)本社事業所&雷テクノロジーセンター(尼崎市)を予定している。

③機械・産業遺産ツアー

- ・近畿の機械や産業遺産を対象に、年1~2回程度開催する。
- ・シニア会に相応しい見学先を選ぶため近畿産業考古学会とも連携する。

④研修キャラバン

- ・会員相互の親睦と企業見学など社会見聞を深めるため、年1回開催する。

3.4 シニア会活動の活性化

シニア会発足後、13年以上が経過し、会員が高齢化する傾向の中で、諸活動に積極的に参加する会員が固定化されつつある。

運営の基本方針を維持しつつも、関西支部の中でのシニア会の役割とあるべき姿についての議論を通じて、新たな方向性を打ち出し、シニアに限らず関西支部員にとっても魅力的な企画を立案・実行することで、次代を担う会員を増強し、活動の活性化を図る。

①情報発信

- ・現会員の多数が諸活動の意義と魅力を理解し、参加することが基本であり、諸活動の意義・案内・成果などを会員だけでなく未加入の関西支部員にも情報提供する。
- ・情報提供の手段の一つであるWebについては、より見やすく判り易い形に改訂する。
- ・WEB 以外の手段については、「シニア会便り」等の可能性について、関西支部幹事会と協議する。

②関西支部会員の意見、ニーズ聴取

- ・昨年度実施した55歳以上の関西支部会員に対するアンケート調査に代え、本年度は関西支部幹事会メンバーを中心に、シニア会の役割、あるべき姿について意見聴取する。

③将来構想

- ・意見聴取等の結果を反映しながら、現在の活動の在り方を見直すとともに将来に向けての構想を練る。

④会員増強

- ・運営委員、シニア会員の人的ネットワークなどを通じて、引き続き会員の増強に努める。

以上